

日本歴史言語学会 2017年大会 開催のご案内

紅葉の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今年も日本歴史言語学会の大会が開催される時節となりました。平素よりご支援、ご協力を賜る皆様に、この場をお借りしまして篤く御礼申し上げます。つきましては、以下のプログラムをご高覧の上、よろしくご来場ください。

すでにご承知の通り、昨年実施された会費の改定に伴い、大会当日には会員諸氏に『歴史言語学』第6号が無償で提供されます。会費未納の場合にこの特典は受けられませんので、お忘れの方にはお早目の納入のほどをお勧めいたします。入会を検討されている方も是非事前に手続きをお取りください。

また、大会に合わせて『歴史言語学』に付随するモノグラフシリーズも創刊されます。その第1巻は、幸い好評を得た今春のシンポジウム（於研究社英語センター）を基礎に、高名な町田健、柳沢民雄両先生と不肖神山が作成した『ソシユールと歴史言語学』です。師走中旬から市販が開始されますが、大会では会員向けの割引販売が実施される予定です。大会において各方面の先端的な研究に触れることと併せ、この機会を有効にご利用いただければ幸甚であります。

日本歴史言語学会 会長 神山 孝夫

記

開催日時 2017年12月9日（土）～ 10日（日）
開催場所 大阪学院大学（大阪府吹田市岸部南2-36-1）

受付	2号館B1フロア
主要会場	2号館B1-02教室
ポスター発表	2号館B1フロア
書籍販売	同上
休憩室	2号館B1-03教室
手話通訳控室	2号館B1-04教室

大会委員長 大木一夫（東北大学）
大会実施委員 服部義弘、近松明彦、村田和久（大阪学院大学）

大会参加費 日本歴史言語学会会員は無料
非会員 2000 円（一般）、1000 円（学生）

日本歴史言語学会 2017年大会 プログラム

第一日 12月9日(土)

- 12:30- 受付 於 2号館 B1 フロア
- 13:30-13:45 開会式 於 2号館 B1-02 教室
開会の辞 会長 神山孝夫(大阪大学)
会場校挨拶 吉田 卓(大阪学院大学外国語学部長)
- 13:45-17:30 シンポジウム 於 2号館 B1-02 教室
「言語系統論の過去(これまで)と未来(これから)」
趣旨説明: 田口善久(千葉大学)
- 講演1 「オーストロネシア研究における系統分析の事例: 分析方法と手法の可視化の変遷」
菊澤律子(国立民族学博物館/総合研究大学院大学)
- 講演2 「比較方法と日本語諸方言の系統分析」
平子達也(駒澤大学)
- 講演3 「言語系統論への数理的アプローチの可能性」
村脇有吾(京都大学)
- 講演4 「生物の系統学からみた今後の言語系統分析の可能性」
三中信宏(農業環境技術研究所/東京大学)
- パネルディスカッション
- 18:00-20:00 懇親会 於 17号館 1階 教職員食堂

●懇親会の案内

会員間の親睦を深めるべく、懇親会を行います。ぜひご参加ください。
会費 5,000円(学生会員は3,000円)
申込締切 11月30日(木)午後5時まで
申込先 histling17ogu@gmail.com(大阪学院大学外国語学部 村田和久 宛)
@を半角に変えてご利用ください。

●昼食の便

学会中は、2日間とも学内のレストランは営業しておりませんので、近隣の食事処を利用してください。2日目(12月10日(日))の昼食のお弁当は事前にご注文いただけます。申込先と締切は上記の懇親会と同じです。
費用 1,000円(税込み)

第二日 12 月 10 日 (日)

9:20- 受付 於 2号館 B1 フロア

9:20-10:50 ポスター発表 於 2号館 B1 フロア

西田文信 (東北大学)	ブータン王国の East Bodish 諸語の系統分類について
-------------	---------------------------------

服部義弘 (大阪学院大学)	歴史的音変化と言語のリズム特性との相関について
---------------	-------------------------

10:55-16:40 口頭発表 於 2号館 B1-02 教室

10:55-11:25 口頭発表 1 司会：菊澤律子 (国立民族学博物館／総合研究大学院大学)

末森明夫 (産業技術総合研究所)	拡張記号図式による借用口型および空書の合成構造の記号論的分析：手話歴史言語学への援用に関する予備的考察
---------------------	---

11:30-12:00 口頭発表 2 司会：菊澤律子 (国立民族学博物館／総合研究大学院大学)

相良啓子 (国立民族学博物館)	日本手話、台湾手話、韓国手話の二桁から四桁の数の表現の構成とその変化—「10」「100」「1000」に着目して—
--------------------	--

12:00-13:00 休憩

13:00-13:30 総会 於 2号館 B1-02 教室

13:35-14:05 口頭発表 3 司会：岡島昭浩 (大阪大学)

島映子	『竹取物語』における「無助詞/ハ」の対立—現代語の「ガ/ハ」との比較—
-----	-------------------------------------

14:10-14:40 口頭発表 4 司会：西田文信 (東北大学)

藤原敬介 (京都大学)	ルイ諸語とポロ・ガロ諸語との声調対応
-------------	--------------------

14:40-15:00 休憩

15:00-15:30 口頭発表 5 司会：櫻井健 (愛知県立大学)

土肥篤 (東京外国語大学・院)	19世紀ドロミテ・ラディン語の疑問文における心態詞
--------------------	---------------------------

15:35-16:05 口頭発表 6 司会：唐澤一友 (駒澤大学)

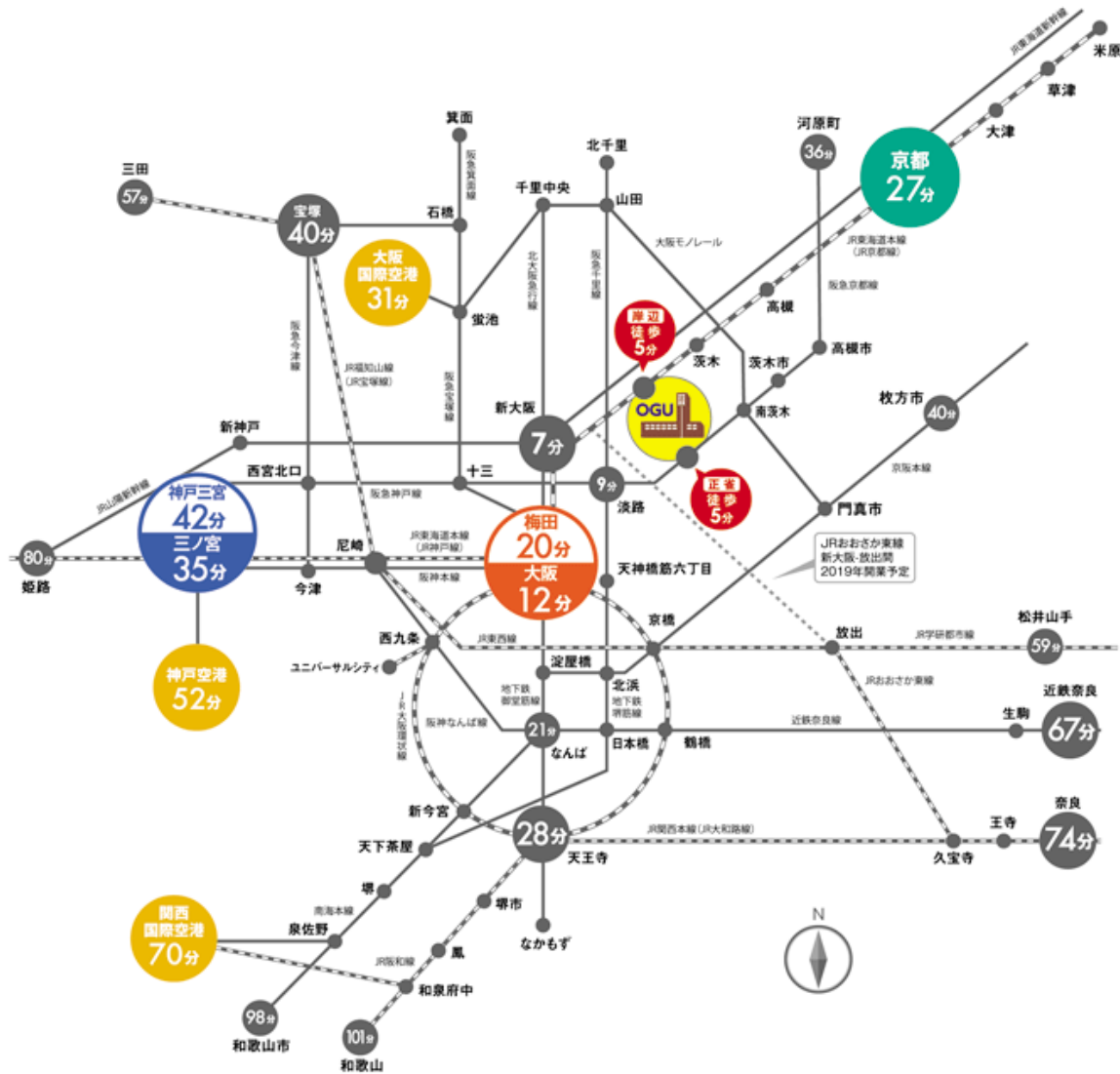
海田皓介 (千葉大学)	古英語 <i>behātan</i> の消失
-------------	------------------------

16:10-16:40 口頭発表 7 司会：清水誠 (北海道大学)

西出佳代 (神戸大学)	ルクセンブルク語における推量の助動詞 <i>lux. wäerden</i>
-------------	--

16:40-16:50 閉会の辞 副会長 菊澤律子 (国立民族学博物館／総合研究大学院大学)

大阪学院大学 交通アクセス



大阪学院大学 最寄り駅からのアクセス

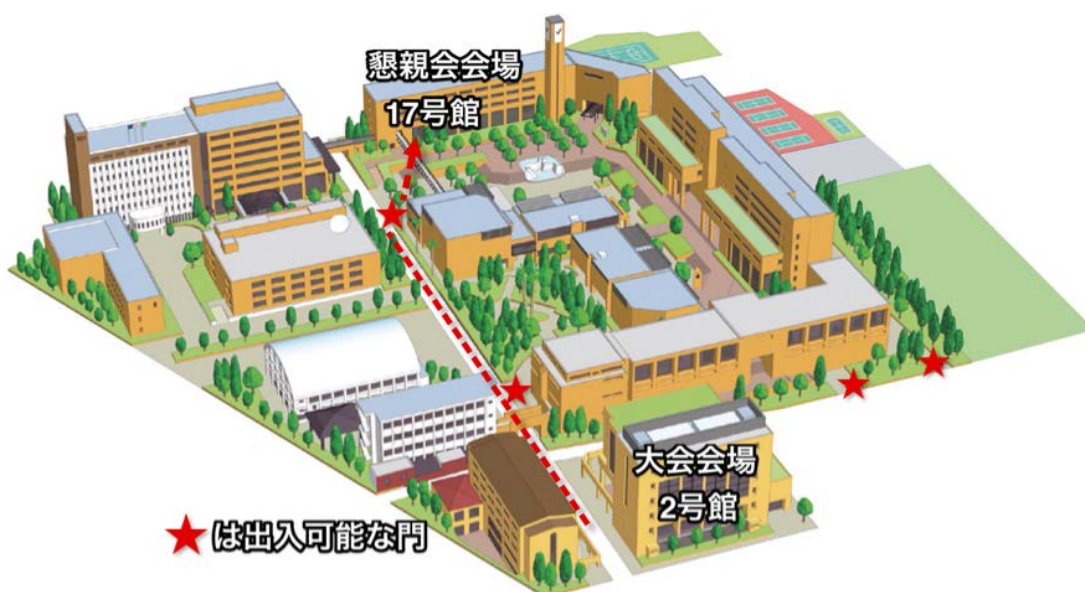
最寄り駅は JR 岸辺駅 または 阪急 ^{しょうじゃく} 正雀駅 です



大会会場 案内図



懇親会会場



大会会場 周辺 飲食店等案内図



お知らせ

入会と会費納入

日本歴史言語学会では会費を低額に抑える方針を採り、専門の研究者、その志望者のみならず、言語の歴史的研究にかかわるあらゆる方への入会・参画を歓迎しています。

入会には以下2点が必要です。詳しくは <http://www.jp-histling.com/Pages/fee.aspx> をご覧ください。

1. 入会申込書の提出

大会受付でも記入・提出できますが、受付の混乱と転記ミス防止のため、メール添付での事前提出をお勧めします。入会申込書は上記URLから入手できます。

2. 年会費の納入（現会員の方もご高配ください）

年会費は大会受付でも納入できますが、なるべく郵便振替口座をご利用ください。

郵便局備え付けの払込用紙を利用し、通信欄にはおところ、お名前、払込金の用途（例えば「普通会員2017年会費」）とメールアドレスを記載してください。郵便局（ゆうちょ銀行）以外の一般銀行やネットバンクからも納入できます。

なお、2017年度から会費が変更されています。ご注意ください。

普通会員	6000円（下記以外の会員）
学生会員	3000円（学生である会員）
シニア会員	3000円（定年退職後定職を持たない会員）
賛助会員	10000円（一口）（趣旨に賛同する法人等）

郵便局から	他行から
郵便振替口座 00980-7-217339 日本歴史言語学会事務局	ゆうちょ銀行〇九九店 当座預金 0217339 日本歴史言語学会事務局

学会誌『歴史言語学』

日本歴史言語学会の学会誌『歴史言語学』（*Historical Linguistics in Japan: HLJ*）はわが国の歴史言語学徒を繋ぐ市販の定期刊行物です。会費改定に伴い、2017年度より会費を完納いただいた会員には該当年度発行の最新号を無償で提供することになりました。既刊1～5号については、従前通り各種書店、amazon.co.jp、あるいは大会会場でお求めください。

お問い合わせ

会場について：大会実施委員 服部義弘（大阪学院大学）ynhatt@ca.thn.ne.jp

大会について：大会委員長 大木一夫（東北大学）ookikazuo@ml.tohoku.ac.jp

その他：事務局長 田口善久（千葉大学）info@jp-histling.com

@を半角に変えてご利用ください。

日本歴史言語学会 Japan Society for Historical Linguistics: JSHL 会長 神山孝夫 http://www.jp-histling.com
--